第 15 回大磯ロングビーチ ファミリートライアスロン大会(2020)

オペレーションマニュアル 【バイクパート】

【審判用】 第 2.2 版

作 成 者	竹内 史	
作 成 日	2020年8月27日	
最終更新日	2020年9月 9日	

目次

表紙	······································	1
目次		2
はじと	b(c	3
体制	かに	3
1.	TO	3
会場	•コース······	4
1.	コース図	4
2.	コース設営図・スタッフ配置	7
(1)	マウント/ディスマウントエリア~下りコーナー	7
(2)	下りコーナー〜海側コーナー	8
(3)	横断路付近	8
(4)	折り返し······	9
業務	詳細•注意事項······	0
1.	共通事項1	0
2.	業務別詳細および注意点	1
3.	救護を要する選手の対応	4
4.	制限時刻対応1	4

■略語一覧

ТО	テクニカル・オフィシャル(審判員)
TL	チームリーダー
TD	テクニカルデリゲート(技術代表)
HR	ヘッドレフリー(審判長)
ВС	パートチーフ TO
BSC	パート サ ブチーフ TO

はじめに

本大会は COVID-19 感染拡大による自粛期間を経て初の大会開催となります。 つきましては大会起因による感染拡大とならないよう、細心の注意をもって業務の進行をお願いします。 なお、今大会ではボランティアのご協力を仰がず、すべて TO にて運営を担当します。 通常の大会と比べ業務内容が拡大することへのご理解お願いいたします。

○COVID-19 対策

・基本 (大会方針)

下記別書面を熟読の上、熟読の上、内容の確認ご理解お願いします。

「運営についての要点(KnTU COVID-19 対策)」

「競技運営マニュアル【TO(テクニカル・オフィシャル)用】」

P.5 ドレスコード

P.6 注意事項-1.新型コロナウイルス感染症 (COVID19) 感染防止対策

- ソーシャルディスタンス 2 mの確保
- ・マスクを常時着用を原則
- ・ 選手および器具類等に不必要に接触しない。接触する場合は手袋の着用
- ・ その他詳細は「注意事項」に記載

体制

1. TO 一覧

チーフTO/サブチーフTO一覧

名前	ポジション	役割	連絡先
竹内 史	BC バイクチーフ	エリア統括	090-2010-9376
		本部・他ポジションと連絡、調整	ke2ggl@gmail.com
清水 英一	BSC バイクサブ	エリア統括サポート	090-9313-0595
	チーフ		eiichi@gmail.com

TO 一覧および担当エリア

名前	ポジション	担当·役割	備考
篠田 圭吾	BM1	バイク移動	先導·末尾
竹内 朝音	BM2	バイク移動	先導·末尾
和田 桂子	ВМ3	バイク移動	トラブル対応・末尾
金子 栄一	Т6	折り返し点	コース変換含む
今橋 尚也	T7	駐車場安全監視	入口
馬場 勉	T8	駐車場安全監視	奥側交通整理、安全監視

篠原 永年	Т9	駐車場安全監視	手前側交通整理、安全監視
森田 正人	T10	横断路安全監視	横断路本部側コントロール
山村 良一	T11	横断路安全監視	横断路海側コントロール
廣實 正人	T12	コース安全監視	下り坂安全誘導
浅井 政司	T13	コース安全監視	下りコーナー安全監視
大谷 圭吾	T14	コース安全監視	登りコーナー入口減速監視
松本 裕	T15	コース安全監視	海側コーナー安全監視
大木 唯弘	T16	受付·来場者安全監視	駐車場、応援者安全誘導
坂口 勝啓	T17	受付·来場者安全監視	駐車場、応援者安全誘導

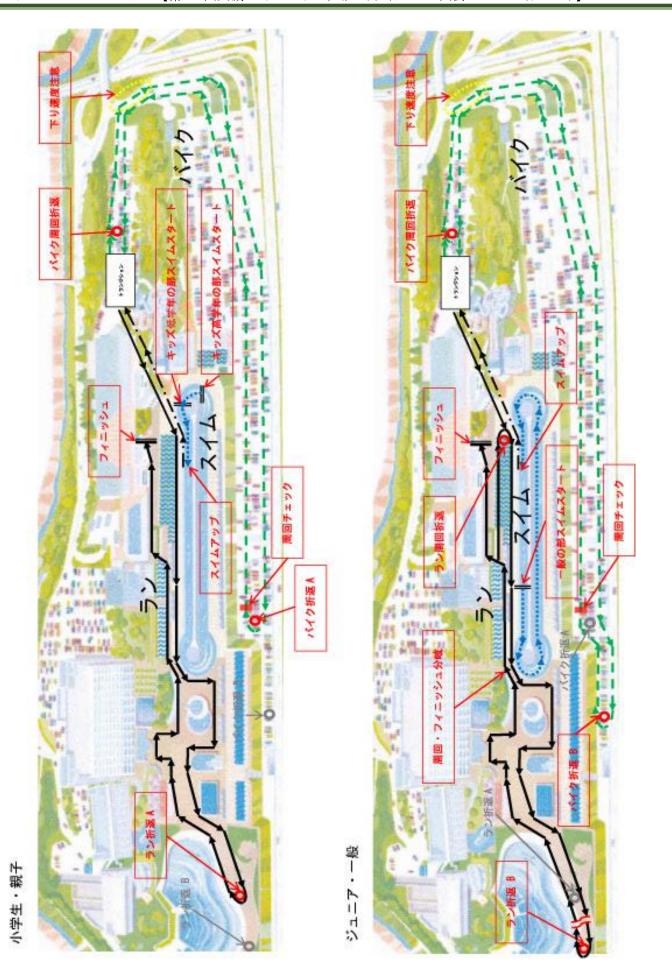
会場・コース

1. コース図

■全体図 P.5 参照

キッズ低学年(小学1~3年)・親子	1.5 km × 1周 = 1.	.5km	男子 女子 親子 計	45名 25名 8組 78名
キッズ高学年(小学 4~6 年)・親子	1.5 km × 2周 =	3km	男子 女子 親子 計	63名 30名 6組 99名
ジュニア(中学生)・チャレンジ	1.67km × 3周 =	5km	ジュニア チャレンジ 計	37名 10名 47名
一般(高校生以上)	1.67km × 6周 =	10km	高校生 一般 計	7名 74名 81名

■バイクコース図 P.6 参照



5 / 14



赤旗 : 5本 BSC、BM3、T13 ポータブルスピーカー : 1台 T10

巻尺: 1台 サインスタンド: 19台 サインボード 竹箒: 5本

ガムテープ : 白(距離表示用)、緑(乗車ライン)、赤(降車ライン) 消毒用エタノールボトル : 5個(BC、BSC、BM1~3) トラメガ : 2台 (T9、T10用)

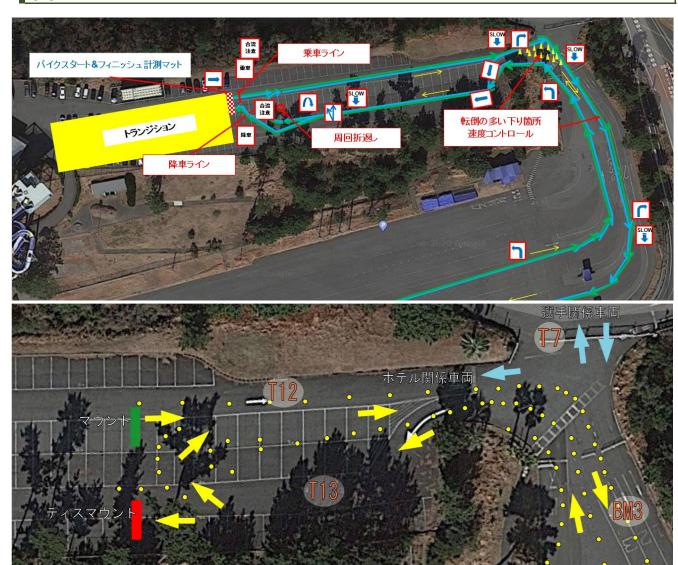
海側コーナー ~ 折り返し 110 個 TA \sim 海側コーナー 30 本 海側コーナー \sim 折り返し 30 本

コーン/ベッド : TA ~ 海側コーナー 80 個

フェイスガード : 5個(BC、BSC、BM1~3)

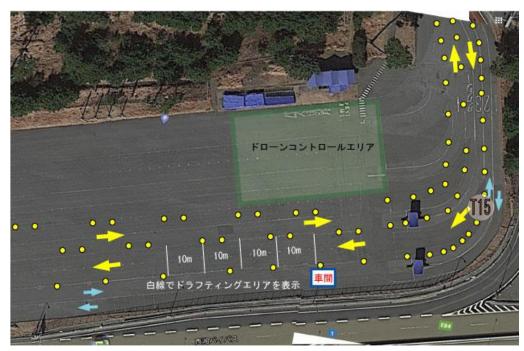
2. コース設営図・スタッフ配置

(1) マウント/ディスマウントエリア ~ 下りコーナー



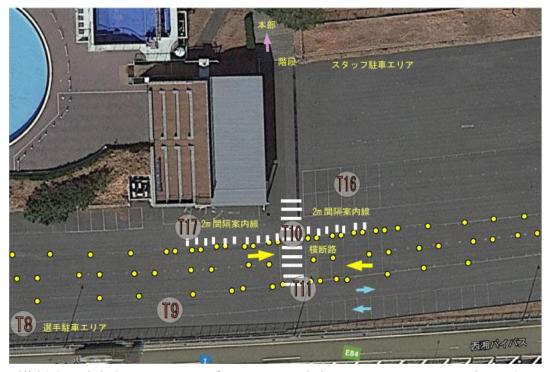
- ・ 乗車ライン/折り返しから第一コーナーにかけて急な下り坂。毎年転倒者が出るので注意。カーブ手前から狭路に絞り、減速を促す。
- ・ 降車ラインに向かう左コーナーは急な上り坂。失速して落車する選手もいる。コーナー手前で左側に コーンを配置して狭路に絞り、減速を促す。
- ・ 駐車場で入口からホテル関係の車両が通行する場合があるので、3m 程度通路を確保する。

(2) 下りコーナー ~ 海側コーナー



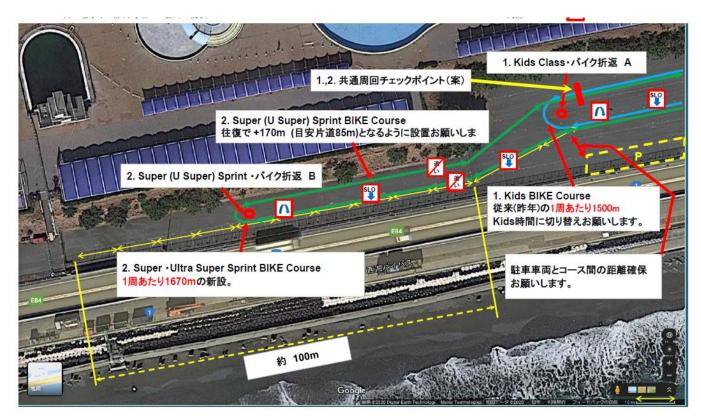
- ・海側ストレートに 10m 間隔で白線を 5 本表示し、ドラフティングエリアの確認ができるようにする。ドラフティング禁止のサインボードを設置する。
- ・ 最も外側は自動車通路として確保。既存の車線表示を利用してコース設置する。

(3) 横断路付近



- ・ 横断路~本部側にかけて、及びコース沿いに適宜のエリアで 2m 間隔の表示を行い、横断待ち 歩行者及び応援者のソーシャルディスタンス維持を促す。
- ・キッズウェーブ時の応援者、一般ウェーブ時のキッズ終了後に退場する人と応援者で混雑が予想される。
- ・ 駐車エリア西側は立ち入り制限。

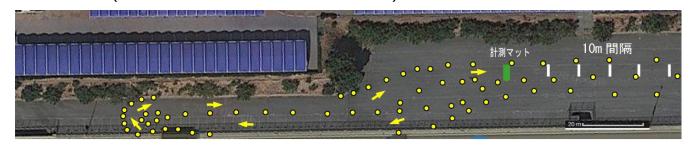
(4) 折り返し



■小学生(キッズ) 折り返し点



- ・小学生バイクパート終了後(10:10 見込み)、折り返しの変更。
- ■中学生以上(スーパースプリント・ウルトラスーパースプリント) 折り返し点



- ・ 計測マット後方、ストレート部に 10m 間隔距離表示線を設置する。
- ・ 折り返し点直前でコースを絞り、減速を促す。

業務詳細·注意事項

1. 共通事項

- 入場者制限を行い会場内の人数制御を行う。来場者全員が検温、問診表提出のため、会場の出入り口はウォータースライダー下のゲートのみとする。駐車場からは駐車エリア北側の階段からのルートのみとなる。
- 検温済み証のリストバンドをしていない来場者は検温ゲートに向かうよう指導する。
- 本大会では、トランジット間(スイム-トランジット-バイク、バイク-トランジット-ラン)の時間計測は行わない。 (移動中の混乱によるリスクを軽減し、選手間の距離確保、及び安全の向上のため)
- 転倒、トラブル等で選手が競技を一時中断している場合、後続の選手が追突しないよう安全確保の誘導を行う。
- 小学生でも、トラブル時には手助けは行わないことを原則とする。ただし、客観的に競技継続不能と見られる場合には、速やかにチーフに報告し、安全な位置へ退避させ、リタイヤ対応を行う。状況についてはチーフより大会本部へ報告する。緊急時には本書末尾「救護を要する選手の対応」に順ずる。
- リタイヤ選手について、コース外の安全な位置に誘導する。アンクルバンドを回収、レースナンバーの確認、 チーフへの連絡を行う。コース外縁は自動車通過ルートになるので、内縁側に誘導が良い。
- 故意に安全を脅かす行為、大会運営に支障をきたす行為をとった選手には注意する。レースナンバー、時間、場所を記録し、チーフ経由で本部 HR に報告する。
- 感染拡大防止の視点でドラフティング禁止の声かけを軽減するため、車間距離保持のサインボードを 適宜設置する。海側両端のコーナー立ち上がりのストレートに 10m 間隔の案内線を表示する。
- トラブル等、選手や機材類と接触する場合は必ず手袋を着用する。使用後の手袋は速やかに除菌スプレーにて消毒処理を行う。チーフ、サブチーフ、バイク移動担当は除菌スプレーを携行する。
- コースは完全に隔離されていないため、応援者、通行者等がコース内に侵入しないよう監視する。
- 選手本人試走時間内コース及び競技中以外は全てバイクは押し歩き。
- 応援者が隣接して不必要な接近が無いよう監視し、ソーシャルディスタンス確保を促す。できるだけ大声にならないよう留意する。マスク非着用者には着用を依頼する。
- 競技時間中も駐車場への自動車の往来がある。自動車通過時はコース上の選手の監視し、動きに留意して自動車の徐行依頼のジェスチャーを示す。
- コースの特性上 (海岸線の際)、強風になる場合が多い。選手の風によるふらつき、荷物の飛散など レース進行の障害にならないよう監視する。
- 不明な点はチーフに確認する。チーフは本部と確認の上、正確な情報を提供する。
- <mark>低年齢の参加者が多い大会</mark>であり、選手の体調不良について留意してよく観察する。選手の健康と安全を優先して声を掛け、競技継続困難と思われる選手には積極的にリタイアを勧めるようにする。
- 選手が気持ちよくレースを終えて帰れるよう心掛ける。

■2. 業務別詳細および注意点

業務・ポイント名	担当者	業務
BM1~3	篠田·竹内(朝)·和田	バイク移動による先頭、最後尾の監視
Т6	金子	折り返し点安全監視
T7~9	今橋・馬場・篠原	駐車場の自動車誘導と安全監視
T10、11	森田·山村	コース横断路の安全監視
T12~15	廣實·浅井·大谷·松本	コース内及び周辺の安全監視
T16、17	大木·坂口	横断路、応援エリア付近の安全監視

■ 全体

「競技運営マニュアル【TO(テクニカルオフィシャル)用】」 P.11 6.バイク担当 参照

■ BC:チーフ

- ・バイクパートエリアの安全と競技のスムーズな運営のための統括を行う。
- ・大会本部、他のポジションとの連絡、情報共有。
- ・トラブル、リタイア等の選手の確認、報告。
- ・ウェーブ毎の先頭、最後尾の把握と連絡。
- 緊急時の連絡、対応。

■ BSC: サブチーフ

- チーフ業務のサポート。
- ・コース全般の安全監視

■ BM: バイク移動

- ・B M1、B M2 はバイクの先頭選手の先導及び最後尾。
- ・先導者はマウントエリアから下り坂でコーナーに入るコースでは出来るだけ減速し、後続がオーバースピードでコーナーインしないよう制御する。
- ・折り返し点はウェーブにより異なるため、後続の選手が間違えないよう先導する。コーナー入口手前では 十分減速させるよう制御する。
- ・ジュニア、チャレンジ、高校生、一般については、先導を1周ずつ交代することで先頭位置をキープする。
- ・B M3 は小学生カテゴリーのウェーブの際、カーブ下コーナー付近で待機、安全監視を行う。転倒者が出た場合は、速やかにコース上の後続選手を避けるように誘導し、転倒選手がコース外に退出を促す。 転倒した選手の状況により、T14 担当 TO、ステルスがサポートに入る。
- ・最後尾追尾担当は選手の最終周にコース上各 TO にウェーブの最後となる状況を知らせる。
- ・ステルスはドラフティング違反を監視。必要に応じ車間維持の指示を行う。トラブル等の現場対応、リタイヤ選手の対応。

■ T6:折り返し

- ・コーナー入口での減速指示。
- ・競技進行状況に応じたコースの変更。((4)コース設営変更参照)
- ・西側未使用エリアに人が行かないよう監視する。

■ T7~9:駐車場の自動車誘導

- ・午後の OWS 参加者も駐車場利用位置が共通。特にキッズ終了後、随時往復通行が予想される。
- ・T7: 入口で一時停止してもらい、入場には最徐行、駐車位置は奥から順次入庫して頂くよう依頼 する。必ず最初に北側階段から入場ゲート通過を案内する。自転車での来場者は駐車エリア で一旦バイクを置き、北側階段から入場ゲートへ行くよう案内する。
- ・T8: 奥側から順番に詰めて駐車するよう誘導する。駐車場内歩行者の不注意、横断路以外での横断等、及び出入りする自動車のコース内侵入が無い様監視する。西側(駐車場奥端)の階段は使用できないので、駐車場北側中央階段からの入場を案内する。
- ・T9:本部に近い中央位置に停めようとする方を<mark>奥に誘導する。</mark>駐車場内歩行者の不注意、横断路 以外での横断等、及び出入りする自動車のコース内侵入が無い様監視する。トラメガを適宜利用。

■ T10、11:横断路安全監視

- ・駐車場への往来者について、競技に支障が無い様制止、誘導を行う。
- ・感染拡大防止のため、大声で叫ばないよう、ポータブルスピーカーを使用する(T11)。
- ・通過待ちの歩行者は間隔をあけて整列するよう依頼する。
- ・周辺の応援者にソーシャルディスタンス確保を促す(T10トラメガを適宜使用)。
- ・入場ゲート方向(駐車エリア北側階段)への案内。

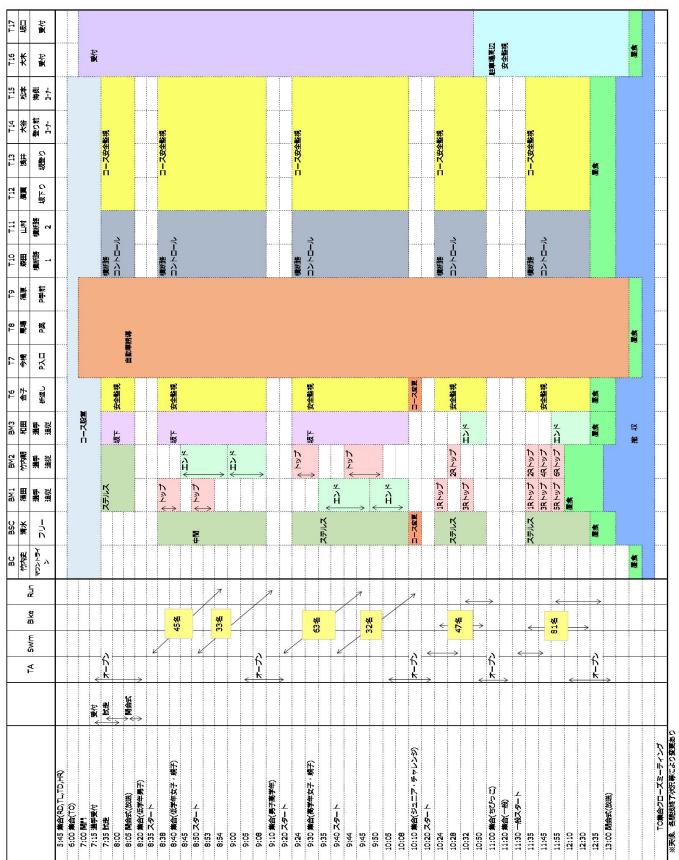
■ T12~15:コース周辺安全監視

- ・T12:マウントラインからコーナーに向かう下り坂を監視、減速を促す。毎回、坂下のコーナーで小学生の転倒が見られるので要注意。小学生低学年は「ブレーキかけて」だけではペダルを止めない人もいる。「スピード落として」のほうが良い。
- ・T13: 周回で戻って来た選手が上り坂で失速し、場合により転倒する。 転倒者に後続が追突しないよう、 コース端への安全誘導等を行う。
- ・T 14: コーナー出口が登り坂になるため、十分な減速を促し監視する。下り坂からオーバースピードでコーナーに入り転倒した選手がいた場合、BM3と連携して適宜対処する。
- ・T15: 海側からストレートに入る大きなカーブで高速で通過しようとする選手が多い。風の影響が大きく変化する可能性もあり、安全に通過できるよう、減速を促す。駐車場出入りの自動車も通過するので、自動車とコース内選手の双方に留意して減速指示をジェスチャーで行う。

■ T16、17: 横断路、応援エリア付近の安全監視

・大会終盤、前半終了後の選手が駐車場側に退場、一般ウェーブの応援者などにより、横断路付近の混雑が予想される。横断待機者の間隔保持、応援者の間隔保持とコース内立ち入りを監視する。

タイムテーブル(予定)



■3. 救護を要する選手の対応

■競技運営マニュアルに準じるP.7 「3.緊急時の対応」参照

連絡先:

無線使用者 BC 竹内(史) 090-2010-9376

BSC 清水 090-9313-0595

バイク移動担当 篠田・竹内(朝)・和田

大会本部(事務局) 070-3236-2277

チームリーダー TL 海野 090-5781-6718

技術代表 TD 鈴木 090-8229-7237

審判長 HR 墨 090-3589-2345

4. 制限時刻対応

■競技運営マニュアルに準じる

P.4 「2.競技制限基準タイム」参照

■最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。(基本的にはできるだけ完走してもらう)